

本模擬問題における問題等の著作権はすべて東京CPA会計学院に帰属します。無断転載・二次利用は固く禁止いたします。

問題 1 [採点基準：丸文字は点数を示す、合計 100 点]

問 1 **㊦** 部門個別 費 と **㊦** 部門共通 費 で構成されている。

| 勘定科目 | 金額 | 勘定科目 | 金額 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 第 1 工程仕掛品 | 18,000 | 動力部費 | 12,000 |
| 第 2 工程仕掛品 | 16,500 | 工場事務部費 | 22,500 |

⑩

問 3 第 1 工程仕損品評価総額 円 **㊦**

第 2 工程仕損品評価総額 円 **㊦**

問 4 第 1 工程直接作業賃率 円/直接作業時間 **㊦**

第 2 工程直接作業賃率 円/直接作業時間 **㊦**

問 5 第 1 工程異常仕損品原価 円 **㊦**

問 6 第 1 工程完了品原価 円 **㊦**

第 1 工程月末仕掛品原価 円 **㊦**

| 勘定科目 | 金額 | 勘定科目 | 金額 |
|-----------|---------|-----------|---------|
| 第 2 工程仕掛品 | 282,000 | 第 1 工程仕掛品 | 282,000 |

⑥

問 8 第 2 工程完成品原価 円 **㊦**

第 2 工程月末仕掛品原価 円 **㊦**

問 9 第 1 工程完了品原価 円 **㊦** ※端数の誤差は 1 円程度であれば許容

問 10 **㊦** (**㊦** 先入先出法) 平均法) が望ましい。

理由： 先入先出法によれば、低い単価によって月末仕掛品が評価され、高い単価によって製造原価すなわち売上原価が算定されることとなり、利益額が平均法よりも低い③ものとなるため。

※キーワードを必要とする理論問題ではないため、利益が低くなる旨が記入されていれば正答とする。